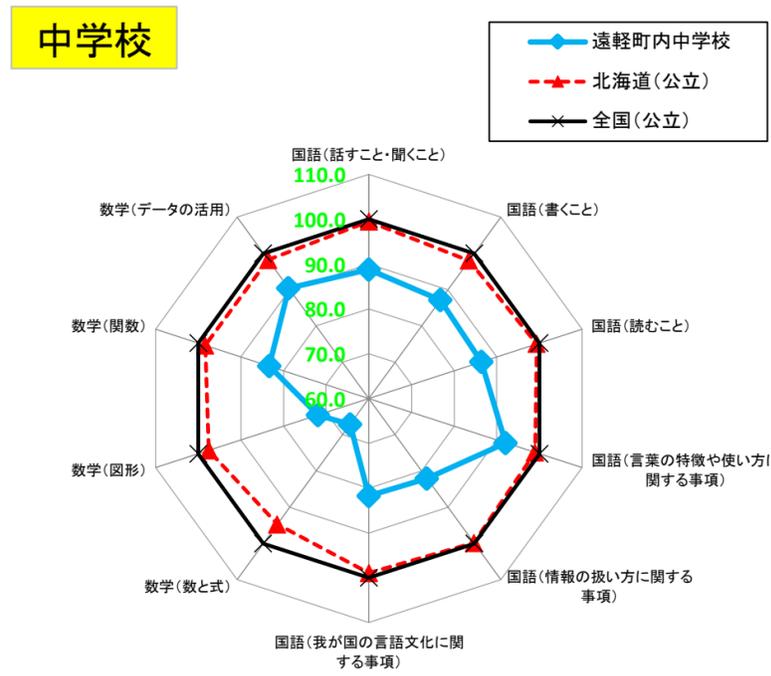
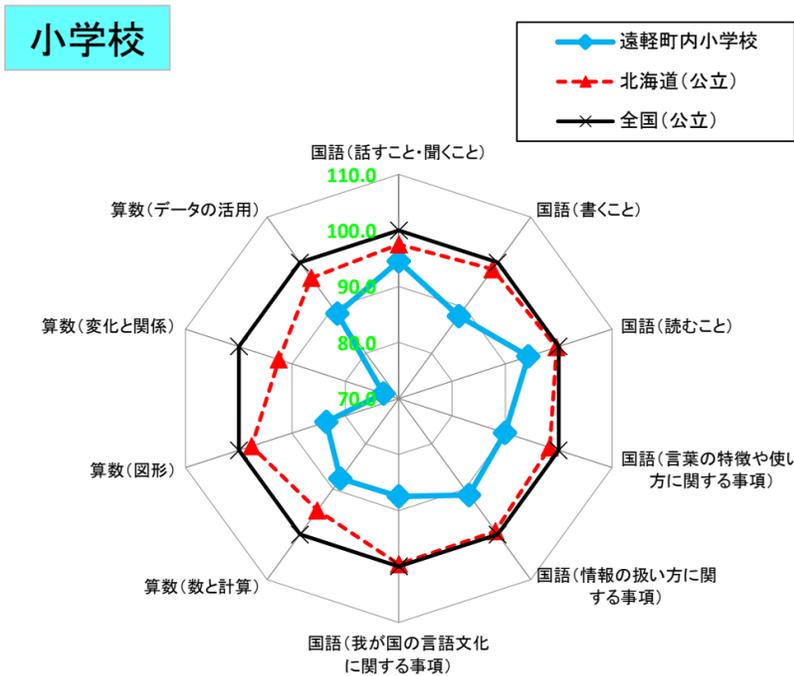


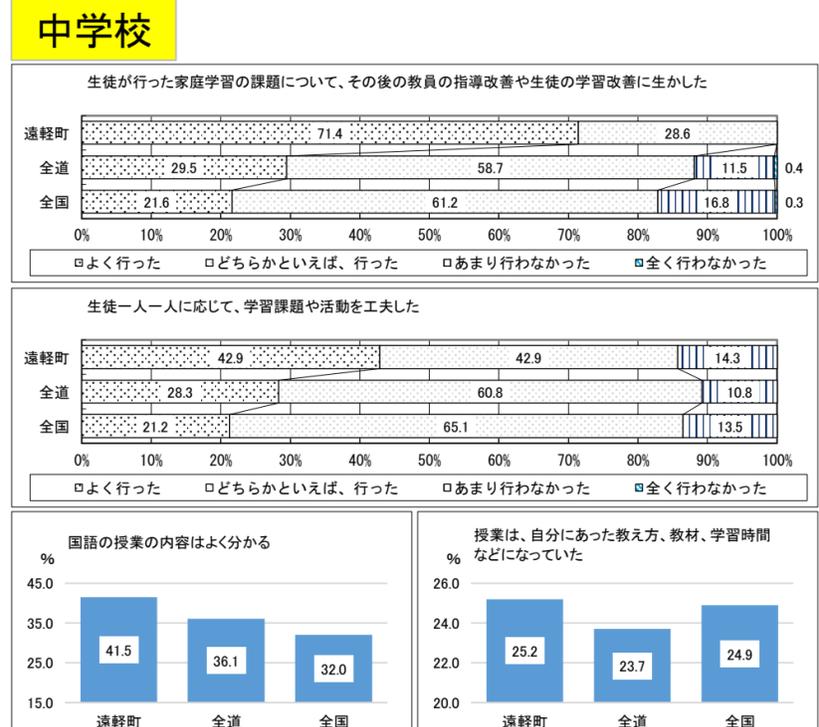
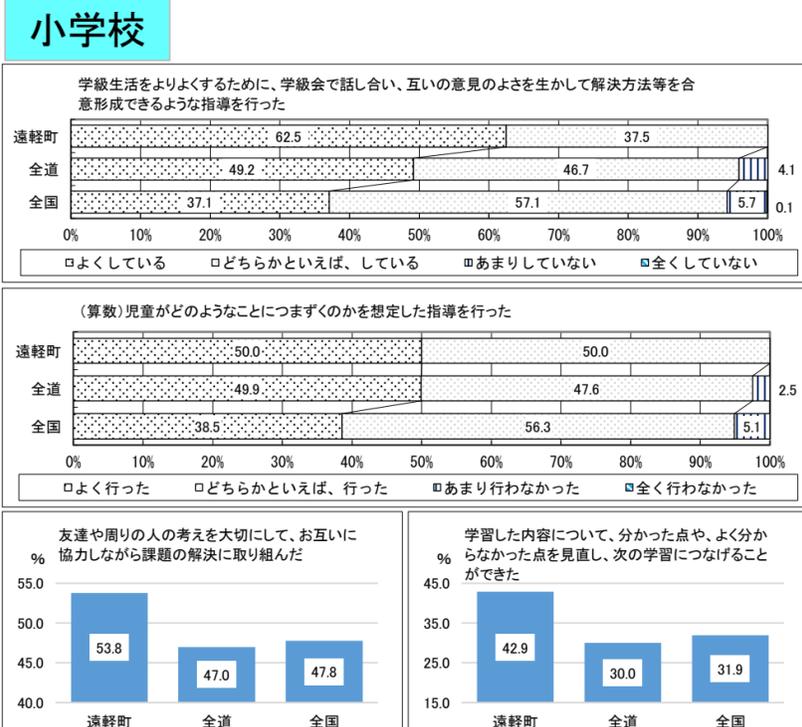
■遠軽町内の状況及び学力向上策（小学校数:8校、児童数:121人）（中学校数:7校、生徒数:131人）

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【質問調査の状況】



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

授業において、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を合意形成できるように指導を行ったことにより、友達や周りの考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んだと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の「話すこと」の領域で平均正答率が全国に最も近くなったと考えられる。

算数の授業において、児童がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行ったことにより、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができたと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、算数の「データの活用」の領域で平均正答率が全国に最も近くなったと考えられる。

中学校

生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしたことにより、国語の授業の内容はよく分かるという回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の「言葉の特徴や使い方にに関する事項」で平均正答率が全国に最も近くなったと考えられる。

授業において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫したことにより、授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の「データの活用」の領域で平均正答率が全国に最も近くなったと考えられる。

【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 家庭と連携した学習の習慣化と規則正しい生活づくりの推進
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置
- ◎ 確かな学力の育成・定着を図るための教育用ICT機器の活用